

特別選考⑧(大学3年生チャレンジ推薦特別選考)

- ア 横浜市を第一志望とする大学3年生の方を対象とします。
- イ 対象の大学に令和7年4月1日時点で在籍し、令和8年4月1日時点で在籍見込み、かつ、令和9年3月31日までに卒業見込みの方を対象とします。
- ウ 大学からの提出書類のほか、受験者本人のインターネットによる申込みが必要となります。
- エ 書類選考の結果、合格者については第一次試験を免除します。ただし、受験票交付日から別途指定する期日までに「適性検査」を受検してください。また、令和7年7月6日(日)に第二次試験の論文試験を実施しますので注意してください。
- オ 書類選考の結果は、受験票の交付をもって通知します。書類選考の結果、特別選考⑧に合格しなかった場合は、受験することができません。
- カ 試験の最終合格者については、令和8年4月に、令和9年度採用候補者名簿登載審査(大学3年次の学業成績の審査)を行います。
- キ 詳細は各大学の御担当者に確認してください。

教職歴の計算方法<特別選考①(教職経験者特別選考)>

(例1)①～④の教職歴を持つXさんの場合(小学校区分受験予定者)

① 令和2年4月1日～令和2年7月31日	臨時的任用職員	A市立□□中学校に勤務	算入できません
② 令和2年8月31日～令和3年3月19日	非常勤講師	A市立○○小学校に勤務	算入できません
③ 令和3年4月1日～令和5年3月31日	臨時的任用職員	A市立△△小学校に勤務	24か月
④ 令和5年4月3日～令和6年3月29日	臨時的任用職員	A市立◎◎小学校に勤務	12か月

③及び④のA市立小学校での継続した教職歴が3年となり、特別選考①の資格要件を満たします。
なお、A市が横浜市の場合は、③の教職歴(2年)のみで特別選考①の資格要件を満たします。

(例2)①～④の教職歴を持つYさんの場合(小学校区分受験予定者)

① 令和2年4月1日～令和2年7月31日	臨時的任用職員	C市立□□小学校に勤務	算入できません
② 令和3年4月1日～令和5年3月31日	臨時的任用職員	C市立○○小学校に勤務	24か月
③ 令和5年4月3日～令和6年3月29日	常勤講師	D市立△△小学校に勤務	算入できません
④ 令和6年4月1日～令和7年3月31日	臨時的任用職員	C市立◎◎小学校に勤務	算入できません

②のC市立小学校での継続した教職歴が2年となり、C市が横浜市の場合は、特別選考①の資格要件を満たします。
なお、①及び④のC市立小学校での教職歴は、継続していないため、算入できません。
③のD市立小学校での教職歴は任命権者が異なるため、算入できません。

ポイント1 対象となる教職歴は、受験区分に該当する校種・職種に限ります(P5参照)。

ポイント2 非常勤講師としての教職歴は算入できません。

ポイント3 同一の任命権者等における複数の継続した教職歴がある場合は、通算することができます。ただし、一つの任用が終了し、同一月に次の任用が開始される場合は、あとの在職期間に当該月を算入することはできません。

ポイント4 月途中の任用開始又は任用終了であっても、1日でも在籍していれば『1月』の経験とします。在籍した継続月数が『36月』以上(横浜市における教職歴の場合は『24月』以上)あることが条件となります。

ポイント5 継続していない教職歴や、任命権者等が異なる教職歴は通算することができません

6 選考方法・試験日

- (1)適性検査 ア 受検期間 受験票交付日から別途指定する期日まで
イ 受検方法 インターネット(オンライン受検)

※期日等の詳細は6月中旬～下旬に交付する受験票にて、お知らせします。

検査結果は個人面接(第二次試験)の補助資料とします。

※期日までに検査を完了していない場合は、失格となります。